

東京女子大学・日本女子大学共催
オトナ女子会

2019年7月12日(金) 講演者：高橋 園子氏 (株式会社日本レストランエンタプライズ 執行役員)



今年度で5回目となる、オトナ女子会(卒業生を中心とした交流会)を開催いたしました。第一部では、東京女子大学OGでグランクラスサービス、JR東日本普通列車グリーンアテンダントや車内販売アテンダント研修、採用等を担当され、現在日本レストラン・エンタプライズ執行役員を務められる高橋園子さんをお迎えし、「新しいサービスへの挑戦～グランクラスのおもてなしを通して～」のテーマでご講演頂きました。ご自身のキャリア形成が複線的であったことや、グランクラス導入にあたってのご苦労、お仕事のやりがいなどについて、お話を頂きました。第二部では、立食形式の交流会、皆さまのネットワークを繋げる場として、ご歓談のひとつ時をお過ごし頂きました。

RIWAC-DA

(リワック・データ・アーカイブ)

国際婦人年(1975年)以降に実施された、女性とキャリア(生き方)に関する社会調査を多数収集し、その詳細書誌データをデータベース化しネット上で公開しています。

レポートや論文作成、ゼミ報告などに、多様な社会調査をぜひご利用ください。

所蔵件数 1577件 (2020年3月5日現在)

<http://search.riwac.jp/>

RIWAC資料室のご紹介



資料室にキャリアに関する文献を多数所蔵しています。閲覧をご希望の方は研究所へお問い合わせ下さい。

お願い

当研究所では、女性とキャリアに関する社会調査のデータアーカイブ(<http://search.riwac.jp/>)を公開しています。女性とキャリアに関する社会調査資料をお持ちの方は、ご協力お願いいたします。

『現代女性とキャリア』発行

年に一回、『現代女性とキャリア』を発行しています。論文のほか主催した講演会やシンポジウムの記録、研究所の事業活動に関する報告を収録しています。また、投稿論文も受け付けております。詳細はHPをご参照ください。本書をご希望の方は送料負担のみでお送りできますので、メールにて当研究所へお問い合わせください。



News Letter

Research Institute for Women and Careers

RI・WAC

日本女子大学
現代女性キャリア研究所

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

TEL 03-5981-3380 FAX 03-5981-3381

E-mail riwac@fc.jwu.ac.jp URL <http://riwac.jp/>

日本女子大学現代女性キャリア研究所シンポジウム ワークとライフをつなぐ働き方を考える

2019年12月14日(土)開催



平木 典子先生
IPI統合的心理療法研究所 顧問



12月14日に「ワークとライフをつなぐ働き方を考える」と題するシンポジウムを成瀬記念講堂で開催いたしました。当日は100名を超える参加者を迎え、盛大な会となりました。

第一部は基調講演として、元日本女子大学心理学科教授で、現在、IPI統合的心理療法研究所 顧問の平木典子先生をお招きし、「ライフキャリアという考え方—ワークとライフをつなぐために」というテーマの下、心理学の視点からご講演頂きました。

まず、キャリアをめぐる用語と概念が20世紀始めから21世紀始めにかけてvocation(天職≒職業)、career(生き方)、life-career(生涯の生き方)、life-design(人生設計)へと変遷してきたこと、それに伴ってキャリア支援のパラダイムが、職業指導中心のものから、生涯にわたる全人的・包括的人生を視野に入れたものへと移行してきたことが順に示されました。

そして、21世紀のライフキャリアを支援するカウンセリングとは、仕事だけでなく多様な役割と環境との相互作用として生涯のキャリアをとらえ、不確実な時代と社会に柔軟に対応しながら自分を生きる物語を作る転機の支援であることが語られました。

第二部のパネリスト報告では、まず筑波大学教授の

田中洋子先生による「ワークとライフをつなぐ柔軟な働き方—ドイツ企業で普及するパートタイム・ジョブシェアリング」において、ドイツにおける働き方の柔軟化と女性のキャリア形成における成功事例などが貴重な調査データとともに紹介されました。画期的と思えるドイツの働き方改革の推進や、それによって出現した正社員と同等に処遇されるパートタイム労働者の話題に大きな関心が集まりました。

また、PwCコンサルティング合同会社 主任研究員の松原光代先生からは「日本企業の柔軟な働き方をめぐる人事管理制度の課題 — ドイツ企業との比較で考える」というテーマでの報告があり、日本企業の柔軟な働き方をめぐる人事管理制度の課題についてドイツ企業との比較からご提示頂きました。

さらに、椋山女学園大学 教授の加藤容子先生から「ワークとライフの相乗効果」として、貴重な調査結果を踏まえた心理学の観点からの報告を頂きました。

その後、上記登壇者に本研究所所長大沢真知子が加わり、パネルディスカッションを行いました。

心理学、社会学、経済学の立場からワークとライフをつなぐ働き方を多面的に考える貴重な時間となりました。



田中 洋子先生
筑波大学 教授



松原 光代先生
PwCコンサルティング合同会社
主任研究員



加藤 容子先生
椋山女学園大学 教授



研究会報告

ドイツにおける働き方の柔軟化と女性のキャリア形成

講師：田中 洋子先生（筑波大学 教授）



11月8日に筑波大学人文社会系国際日本研究専攻の田中洋子先生をお招きして、研究会を開催しました。ドイツにおいて、リーマンショック後の対応施策により、働き方（特に労働時間）の柔軟化が進められ、非正規雇用の増加を食い止められたとのお話を頂きました。また、ドイツのパートの処遇も日本とは異なり、ドイツでは管理職もパート化する傾向があることについてインタビュー調査からの事例をご紹介頂きました。

2019年11月8日(金)開催

政府統計の活用方法 ～e-Statから学ぶ～

講師：鈴木 春子先生（元（公財）統計情報研究開発センター 客員上席研究員）

2月15日、元（公財）統計情報研究開発センター 客員上席研究員の鈴木春子先生をお招きして、政府統計の活用方法についての研究会を開催いたしました。日本の統計機関に関する特徴から、e-Statの位置づけについて、さらに活用方法を実際にe-Statのデータベースを利用して、実践的に教えて頂きました。政府統計のマイクロデータの利用拡大の動きや、国際統計についても知識を深められ、大変示唆に富む研究会となりました。



2020年2月15日(土)開催

RIWAC 出版物

『なぜ女性管理職は少ないのか 女性の昇進を妨げる要因を考える』

大沢 真知子 編著・日本女子大学現代女性キャリア研究所 編
(青弓社ライブラリー)



人口減少社会のなかで女性の労働参加は不可欠であり、職場では人材不足によって女性に対する期待はますます大きくなっています。しかし、女性管理職の割合は低く、同時に、女性自身が管理職に就くことに消極的だとも指摘されています。何がその障壁になっているのか——その要因を、男性中心のリーダーシップ像や女性が抱える心理的な葛藤、職場に根強い待遇面・役割面での差別、セクハラなど、具体的な事例や各種の統計から明らかにします。

男性・女性が平等に活躍できる場を作って公平な評価制度を確立する必要性を指摘して、性別や正規・非正規に基づく格差を解消し多様性を活かすために、新たなリーダーシップ像の確立を訴えます。

2019年3月27日 発売